

分譲マンション〈ジオ〉における生物多様性保全への新たなビジョン

みんな いきもの アクション 「Minna ikimono Action」を策定しました

～ 本ビジョンに基づく取組の第1弾は ABINC 認証を取得した「ジオ荻窪」～

阪急阪神不動産株式会社は、サステナビリティに関する重要テーマの一つとして、環境保全の推進を掲げております。このたび、分譲マンションブランド〈ジオ〉（以下、「〈ジオ〉」）における、生物多様性保全への新たなビジョン「Minna ikimono Action（みんな いきもの アクション）」（以下、「本ビジョン」）を6月9日に策定しましたのでお知らせします。

■ 本ビジョンについて

本ビジョンは、人と生き物（鳥・虫・植物）がともに暮らす未来を目指し、都市のなかに自然を取り込み、生物多様性を育む、〈ジオ〉のランドスケープにおける新たな取組です。

「Minna ikimono」は、すべての人と生き物との共生を意味し、「Action」には、共生を日常のなかで実践していく意思を込めています。



本ビジョンを通じて、住まう人や地域社会の皆様とともに、まちづくりや暮らしのあり方に向き合いながら、人と生き物が共生する姿を一步ずつ行動としてかたちにしていまいります。

■ 本ビジョンの5つの計画方針

本ビジョンをかたちにしていくために、〈ジオ〉※において、当社は以下の5つの方針に基づいて計画します。この5つの計画方針を相互に連携させることで、人と生き物が共生する豊かな環境を育ててまいります。



1. 景観：四季を通じて地域の風景と響き合う景観をつくる
2. 気候：快適な気候環境を整え、自然の力を暮らしに取り入れる
3. 色彩：色彩で生態系と人をつなぐ環境を描く
4. 動線：自然豊かな動線で、人と生き物のフィールドバリューを向上させる
5. 生息環境：人と生き物が安心して暮らせる環境を整え、生態系保全の基盤を育む

■今後の取組について

本ビジョンに基づき、生物多様性保全のランドスケープデザインを、東京都杉並区で建設中の「ジオ荻窪」に設ける4つのガーデンに採り入れるのを手始めに、その他〈ジオ〉※に拡大させてまいります。

※一部対象外となる物件があります。

■ABINC 認証を取得した「ジオ荻窪」で本ビジョンによる取組を展開します。

「ジオ荻窪」は、〈ジオ〉で初めて、「いきもの共生事業所認証（以下、「ABINC 認証」）」を取得しました。ABINC 認証とは、生物多様性保全と自然と共生する世界の実現を目的とする「一般社団法人いきもの共生事業推進協議会」が設定した人といきものの共生を実現できる環境づくりや維持管理の基準を満たし、同協議会の審査を経て認証を受けた物件に与えられる認証です。



ジオ荻窪 アクティブガーデン

■〈ジオ〉における生物多様性保全への取組の特設ホームページ：<https://geo.8984.jp/geo/minnaikimono/>

■ その他当社における生物多様性保全への取組：「30by30 アライアンス」への参加

「30by30（サーティ・バイ・サーティ）目標」とは、2030年までに、陸と海の30%以上を健全な生態系として、効果的に保全しようとする目標です。当社は「30by30 目標」に賛同し、有志の企業・自治体・団体による「生物多様性のための30by30 アライアンス」（事務局：環境省）に参加しております。



以上

【添付資料】 **参考①**本ビジョンの5つの計画方針の詳細 **参考②**本ビジョンを採り入れる「ジオ荻窪」について

【ニュースリリース配付先】 青灯クラブ、近畿電鉄記者クラブ、大阪建設記者クラブ、

国土交通記者会、国土交通省建設専門紙記者会 ほか

本ビジョンの5つの計画方針の詳細

Minna ikimono Action 1

四季を通じて地域の風景と響き合う景観をつくる

Landscape
景観

Concept

地域の自然環境との調和を大切にし、四季折々の風景を取り入れた景観デザインを行います。これにより、敷地全体が地域の景観的な魅力と一体となることを目指します。

Design approach

地域在来種を活用した植栽で周辺の風景と連続するデザインを構築します。地被・低中高木の植栽を立体的に組み合わせ、奥行きのある風景を創出します。四季折々の花木を配置し、季節の変化を楽しめる空間を提供します。

Minna ikimono Action 2

快適な気候環境を整え、自然の力を暮らしに取り入れる

Climate
気候

Concept

自然気候を活用し、温度調整や風通しの良い空間設計を行います。これにより、夏でも快適に過ごせる居住環境を実現します。

Design approach

緑化による温度低減を促進し、木陰や湿地帯を利用した涼しい空間を創出します。風が通るルートを設計し、自然な換気と快適な風環境を提供します。水辺エリアを設けて、ヒートアイランド現象の緩和効果を向上させます。

Minna ikimono Action 3

色彩で生態系と人をつなぐ環境を描く

Color
色彩

Concept

色彩は生き物にとってコミュニケーションや生存戦略の一部です。色彩計画を通じて、生き物が集まりやすく、人にとっても豊かな体験をもたらす空間を創出します。

Design approach

昆虫を引き寄せる花の色（黄や紫、白など）を選定し、受粉や食物連鎖を促進します。鳥類が好む赤い実や果実を持つ植物を配置し、生態系の循環をサポートします。生物多様性の視点を重視した建築・外構の色彩計画を構築します。

Minna ikimono Action 4

自然豊かな動線で、人と生き物のフィールドバリューをたゆむことなく向上させる

Linkage
動線

Concept

敷地全体で人と生き物の関わりの場と互いの生息空間の最適化を図る動線を計画します。

Design approach

人の歩行ルートは自然の植栽帯によって包み込まれ、心地よい歩行・佇み体験を提供します。

鳥や昆虫等が敷地内外を自由に移動できるグリーンコリドーの一助を形成します。

生き物の多様な生息地の在り方を、地中・地上・上空の垂直面としても探求します。

Minna ikimono Action 5

人と生き物が安心して暮らせる環境を整え、生態系保全の基盤を育む

Living
生息環境

Concept

敷地内に生き物が安心して暮らせる生息環境を整え、生態系保全のきっかけを育む場をつくります。

次世代へと引き継がれる、豊かな自然環境の維持を目指します。

Design Approach

生き物の隠れ場所や巣作りエリアを確保し、鳥や昆虫等が暮らしやすい空間を提供します。

土中生物が生息できる土壌環境を整え、自然の循環を支える基盤をつくります。

異なる植栽を組み合わせることにより、多様な生き物のための機能的な意味を持たせます。

本ビジョンに基づく取組を展開する「ジオ荻窪」について

「ジオ荻窪」(東京都杉並区)では4つのガーデンを設けて、そこに、本ビジョンの5つの計画方針に基づいた、生物多様性保全のデザインを施します。



「ジオ荻窪」外観(パース)



敷地配置図

<p>本ビジョンに基づく「ジオ荻窪」のデザイン</p>	<p>住まう人のために敷地を包み込むように生み出された景観は、周辺の環境に溶け込み、地域の景観も担う。</p>	<p>分節された配棟間をすり抜ける風が心地良く、善福寺川の持つ水辺の環境ポテンシャルに加え、涼風をもたらす アクティブガーデンも放射熱抑制としてのクールスポットとなる。</p>
<p>花が咲き、紅葉する植栽が、住まう人と地域の生活に四季の彩りをもたらす。生き物の生命活動となる花や実のなる植栽が、多様性を重視して配置されている。</p>	<p>日常生活動線上に常に緑環境を体感できる。 敷地周囲に途切れることなく続く自然環境が、生き物にとってのグリーンコリドーとなる。</p>	<p>人と一定の距離が保たれ、生き物にとっての安全な場所を意識的にゾーニングし、鳥類やチョウ類を呼び込む誘致木やバードバス、巣箱を設置している。</p>

物 件 名 : ジオ荻窪

所 在 地 : 東京都杉並区荻窪二丁目 535 番 1 他 (地番)

ア ク セ ス : JR 中央線、東京メトロ丸ノ内線「荻窪」駅徒歩 12 分

敷 地 面 積 : 7,013.96 m² ※位置指定道路含む ※建築確認対象敷地面積/6,716.42 m²

構 造 ・ 規 模 : 鉄筋コンクリート造 地上 4 階

総 戸 数 : 99 戸

竣 工 : 2026 年 3 月下旬(予定)

U R L : <https://geo.8984.jp/mansion/geo-ogikubo/>



アクティブガーデン



ラウンジ